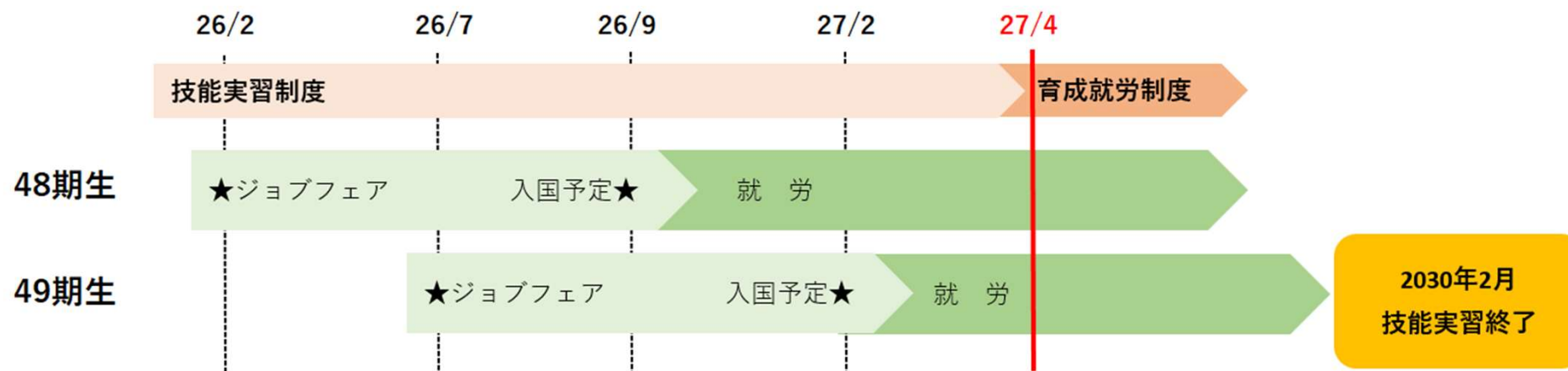


# ASCAプロジェクトの取り組みについて

# 技能実習制度の廃止

## ◆ 技能実習制度での受入が終了します

- 2027年4月に育成就労の開始に伴い、技能実習制度は廃止となります。
- ASICでの技能実習生の受入は、以下の2回のジョブフェアで終了です。
  - 48期生 2026年2月ジョブフェア(2026年9月入国予定)
  - 49期生 2026年7月ジョブフェア(2027年2月入国予定)
- 2030年2月に49期生の在留期間修了で完全終了となります。



- ◆ 技能実習制度に替わる人材として、今後は、ASCA人材の受入を開始します

## 《ASCAプログラムとは》

**A**utomotive **S**ervice **C**areer **A**dvancement Program といい、  
海外人材のキャリア形成プログラムとして、オートバックスグループで働きながら  
自動車整備士を目指す人材を育成するプログラムです。

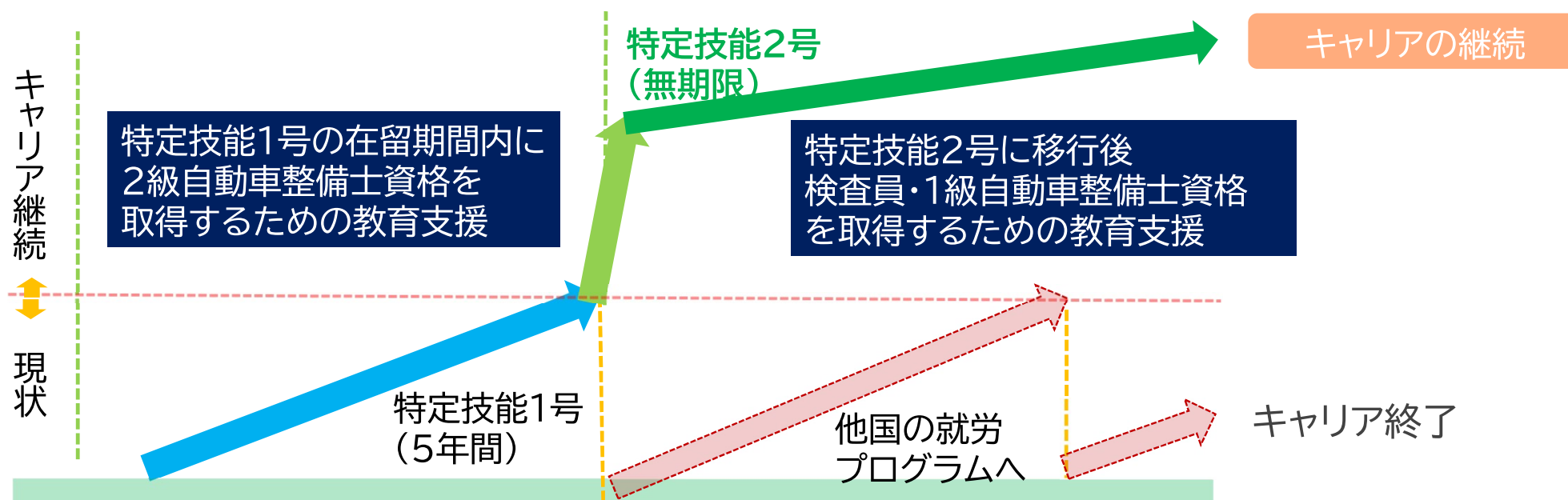
**ASCA PROGRAM**  
**Automotive Service Career Advancement Program**

# ASCAプログラムのご案内



## ◆ ASCAプログラム導入の狙い

円安の影響など、日本が選ばれにくくなっている中、自動車整備資格の取得を目指す《キャリア継続型プログラム》を導入する事で、質の高い人材を安定的に確保し、定着化につなげられるプログラムとします。



# ASCAプログラムのご案内



## ◆ ASCAプログラムの特徴

- ・ 現地で、母集団形成を行った上でスクリーニングで選ばれた人材を対象に、自動車整備・日本語能力の基礎資格を有した人材を雇用し、働きながら自動車整備士2級の取得を目指します。
- ・ 受入企業、就労者 双方にメリットのある仕組みとします。

	コンセプト	受入企業に魅力あるスキーム	就労者に魅力のあるスキーム
プログラムの 特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 受入企業とチェングロウスが支援する<u>伴走型教育支援</u>。</li><li>・ 特定技能1号の在留資格で入国し、<u>自動車整備士2級を取得</u>。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車整備士2級取得により、<u>自社の戦力化および長期定着化を図る</u>とともに、有資格者の安定的な確保を実現。</li><li>・ 外国人雇用に対する<u>充実したサポート体制</u>(教育・手続き、環境整備)。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 働きながら無償で自動車整備士2級を取得出来る、自身の<u>キャリア形成が実現</u>できるコース。</li><li>・ キャリアに応じた<u>報酬の取得</u>や日本での永住、または家族帯同が可能となる。</li></ul>
コスト面 の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「0」から整備士を育成する<u>初期段階の手間とコストを削減</u>。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>安心適正コスト</u>で人材の受入で出来るシステム。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ プログラムを達成した場合、チェングロウスより<u>報奨金制度</u>として現地での日本語授業料相当額を支給する。</li></ul>

# ASCAプログラムのご案内



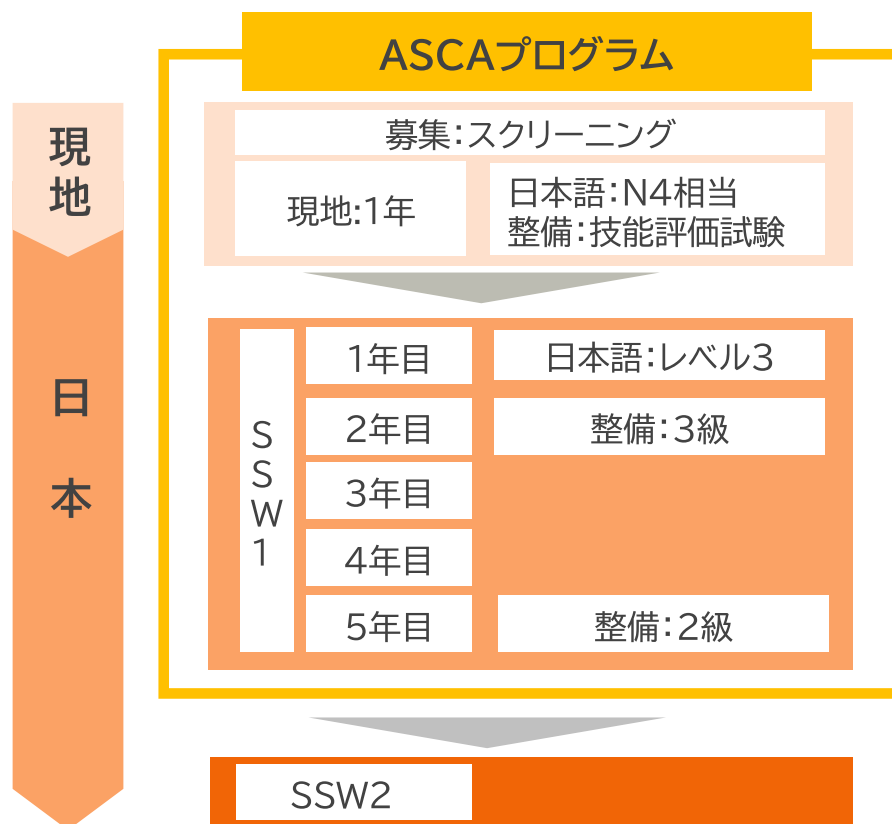
## ◆ 終了となる技能実習プログラムの相違点

	技能実習プログラム	ASCAプログラム
就労目的	<ul style="list-style-type: none"><li>海外で収入獲得を目的</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>収入獲得に加え、自動車整備士資格の取得により自身のキャリア形成を目的</li></ul>
入国前 研修・資格	<ul style="list-style-type: none"><li>6ヶ月間の日本語・整備予備教育</li><li>資格は不要</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1年間の日本語・整備基礎教育</li><li>日本語能力資格N4相当、および自動車整備技能評価試験取得(自動車整備士3級相当)</li></ul>
在留資格	<ul style="list-style-type: none"><li>技能実習(研修生)で入国</li><li>3年間の実習期間修了後、双方のマッチングにより特定技能1号(5年)での継続雇用可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>特定技能1号(労働者)で入国</li><li>5年間の在留期間で自動車整備士2級取得後、特定技能2号(永年)で継続雇用可能</li></ul>
職務役割	<ul style="list-style-type: none"><li>整備補助員</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>整備士予備軍</li><li>在留期間中に自動車整備士資格取得</li></ul>
採用方式	《ジョブフェア方式》 <ul style="list-style-type: none"><li>ドラフト方式による採用</li><li>求人数の2～3倍の候補者あり</li><li>年間3回の開催</li></ul>	《ジョブマッチング方式》 <ul style="list-style-type: none"><li>求人者と求職者の希望によるマッチング方式での採用</li><li>入国前資格取得者は全員雇用</li><li>当面は年間1回、将来的に年2回の開催</li></ul>

# ASCAプログラムのご案内



## ◆ ASCAプログラムの運用スケジュール



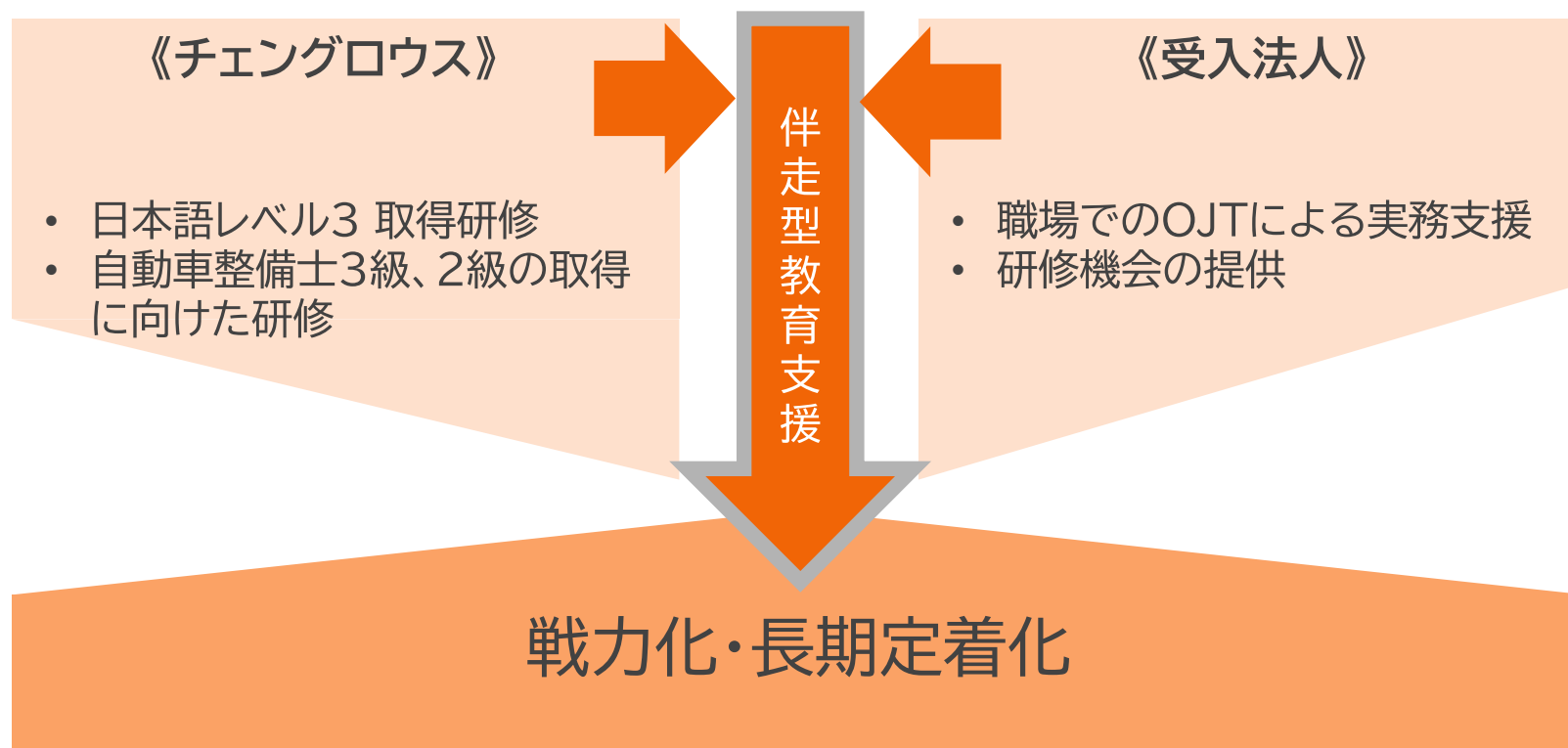
- 現地でスクリーニングにより選抜した生徒に対し、1年間の基礎研修を行います。
- 入国1年目は、日本での就労・生活環境に適応させ、新たに設定する日本語能力レベル3を習得します。
- 2年目には、自動車整備士3級を取得し、現場での補助要員として活躍します。
- 2年の経験後、5年目に自動車整備士2級を取得し、戦力人材として活躍します。
- 特定技能2号に移行後、長期的な活躍が期待できます。

# ASCAプログラムのご案内



## ◆ ASCAプログラムの独自の教育支援体制

自動車整備士資格取得に向けて、受入法人とチェングロウスとで教育支援する画期的なプログラム





# ASCAプログラムの実施状況について



## ◆ 1期生、1.5期生の導入

- ・ フィリピンのパーペチュアルヘルプ大学構内に、専門校舎を建築し、ASCAプログラムの研修を開始しました。
- ・ 1期生2名、1.5期生の6名は受入企業が決定し、現在、フィリピンで就労に向けて準備しています。



## ◆ 2期生の研修開始

- 2期生は、コンセプトセミナーを開催し、一般応募者67名に対しスクリーニングを行い、13名を選抜し10月より日本語授業を開始しました。来年4月には工学部から8名が合流し、最大21名を予定しています。
- 2期生のジョブマッチングは**2026年6月を予定**(入国予定12月)しております。詳細が決定しましたら、改めてご案内させていただきます。

## ◆ 本格稼働に向けた取り組み

- 3期生以降の本格稼働に向けて、パーペチュアル・ヘルプ大学と連携して、スキームの再設計を行っております。
- 人材の確保に向けた母集団形成のやり方、現地での教育体制の整備、日本での支援内容や料金体系の見直しなど、受入企業、就労者双方にメリットのある仕組みづくりを目指して進めています。
- 技能実習からASCAへの変更に向けて、早期に年間受入人数100名以上の供給できる体制をフィリピン側と共に構築していきます。

# ASCAプログラムの実施状況について



## ◆ 3期生以降のスケジュール

今後、基本スケジュールは毎年3月入学、11月ジョブマッチング、翌年5月に入国でパーペチュアル側と進めています。ただし、3期生の開始は、双方で協議中です。確定いたしましたら、改めてご案内いたします。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
		整備				JLPT		整備			JLPT	
現地	選考	入学					日本語試験 N4相当	整備試験		★ジョブ マッチング	日本語試験 N4	
1年目	卒業	N3講習 OJT		【1年目】 就労開始		日本語試験 N3					日本語試験 N3予備	
2年目		意思確認		【2年目】			対策講習①	対策講習②	対策講習③	対策講習④	対策講習⑤	対策講習⑥
3年目	3級 短期講習	3級試験 意思確認		【3年目】								
4年目		意思確認		【4年目】								
5年目		意思確認		【5年目】		対策講習①	対策講習②	対策講習③	対策講習④		対策講習⑥	
6年目	2級 短期講習	2級試験										

- ◆ 技能実習制度は2027年で終了
- ◆ 人材の確保策として、従来の技能実習生とは異なり質の高い人材を集める ASCAプログラムにシフトし、外国人材を育てながら戦力化する
- ◆ 受入企業に十分な人材を供給出来る様に、早急にチェングロウスとパーペチュアル・ヘルプ大学で連携して体制整備を行う